

かがやけ! たまっ子

1年生



- 🌸 これで安心! 入学準備アドバイス
- 🌸 これでバッチリ! 入学までのスケジュール
- 🌸 入学に向けて大切にしたい6つのこと
- 🌸 自分を守る6つの約束
- 🌸 入学の不安解消Q&A ～気になること、お答えします～
- 🌸 小学1年生の1日&1年間の学校行事

必読!

多摩市のデータ
から見る1年生の
姿エトセトラ



にゃんども
TAMA三郎

これで安心！

入学準備アドバイス



永山小学校
校長 小島 徹



小学校には明るい未来が待っているよ！

「小学校は、楽しいよ！」「仲良くしようね！」入学式で2年生が1年生に向けて送ることばの一節です。緊張していた新入生たちの表情が思わずほころぶ場面。そして「1年間の小学校生活で、子

供たちはこんなに成長していく」ということを大人たちが実感する場面でもあります。学校は楽しいところです。そして小学校は、子供たちの夢や希望を膨らませながら、自分の力で一步一步歩いていくためのエネルギーを蓄える場所です。「楽しい」けれど「楽(らく)」ではないかも知れません。一つひとつの活動を先生や友達と経験し、乗り越えていく。自信を積み重ねながら自分の良さに気づいていく。学校は手応えや実感あふれる活動の中で、子供たちの心と身体を育てていきます。とは言え、不安や悩みもあることでしょう。それは誰もが同じです。

より大きな期待感をもって就学の時を迎えられるよう、共に悩み、共に考え、一つひとつ解決しながら進めていきましょう！

小学校は、子供たちが保育園・幼稚園等で育んだ力を引き継ぎ、最大限に伸ばせられるように、保育園・幼稚園等との連携の推進に取り組んでいます。この入学準備ブックは、保育園・幼稚園等の先生方と小学校の教員が一緒になり、保護者の皆様の就学の不安や心配を軽減するために作成しました。ぜひ、ご一読いただき、明るい小学校生活を迎えられるようにご準備いただければ幸いです。



緑ヶ丘幼稚園
園長 有馬 篤樹



しての自信や自立が培われてきました。新しい小学校生活においては、初めてのことに数多く出会うと思いますが、幼稚園・保育園で大いに遊び、頑張ったという「たからもの」を大切に、自信を持って小学校生活を歩んでいただきたいと思います。小学校での6年間は、学びや遊びそして友達との様々な活動を通して、お子様一人ひとりが大きく成長なさることと思います。今回保幼小連携の一貫として、「わくわく入学準備ブック」が作成されましたが、小学校入学への「不安解消」はもちろん、更には「期待・安心感」を持ってわくわく、楽しい学校生活となるよう、幼稚園園長会としても議論してきました。皆様方の楽しい学校生活を今後も応援してまいります。



かしのき保育園
園長 福島 真



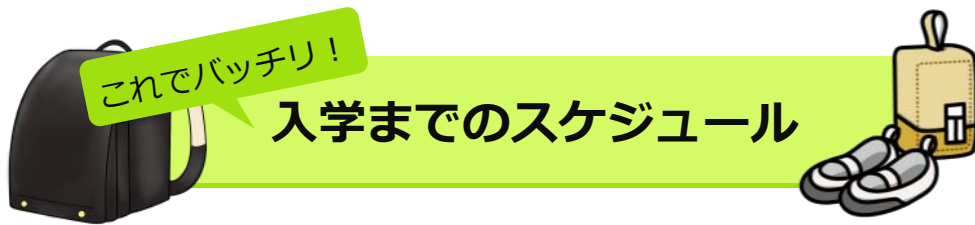
乳幼児期は豊かな人生の基礎作り

この度、保育園・幼稚園、小学校の関係者で検討を重ね、多摩市版の入学準備ブックを皆様にお届けできる運びとなりました。乳幼児期にご両親をはじめ周りの大人の十分な愛情を浴びた子供たちは、人生の土台、基本的信頼感をつくります。そして友達との経験を通して社会の一員として必要なことを学び学童初期を迎えます。この間の育ちがその後の子

供たちの人生に大きな影響を与えているといわれています。仲間と一緒に毎日を楽しく過ごした保育園から、学びを中心にした学校生活への転換は子供たちには高いハードルかもしれません。私たち保育園では、近隣の小学校の運動会などの行事、授業参観等、入学体験を通して年長児が小学校への興味や関心が持てるよう心がけています。また、多摩市保幼小連携事業の中で、小学校入学前に話をするときの正しい座り方、場面にあった声の大きさ、話を聞くときは話し手の方を向いて聞くことなど、七つの具体的な場面を設定し行っています。加えて、小学校入学予定者の成長記録を該当する小学校へお送りし、スムーズな接続を目指しております。本ブックが新1年生になるお子さんたちの安心につながる一助となることを願っております。

幼児期に育んだ力に自信をもって！

人生初めての集団生活である幼稚園・保育園では、お子様はたくさん遊び、様々な体験を通して心身共に大きく成長し、いよいよ4月から小学校生活を迎えます。入園間もない頃は、初めてのこと、知らないことばかりのお子様も園生活に次第に慣れ、一つひとつのことを覚え、そして「できた！」「がんばった！」という体験の積み重ねにより、「生きる力」と



入学までのスケジュール

10～11月	就学时健診	<ul style="list-style-type: none"> 就学する小学校で健診を受けます。 就学支援シートが全員に配布されます。提出するかは保育園・幼稚園の先生と相談してください。
11月下旬～ 12月上旬	学童申込み	<ul style="list-style-type: none"> 11月上旬の市報とホームページにてお知らせします。園にもポスターを掲示します。(1月頃には面接があります)
1～2月	入学通知書の確認	<ul style="list-style-type: none"> 入学式の日程等が記された入学通知書が送付されます。
	入学説明会	<ul style="list-style-type: none"> 就学する小学校で説明会があります。保護者が用意する物などの説明があります。(最近保護者が作らなければならないものは少なくなっています) 就学支援シートを提出する場合は受付で提出します。
3月	通学路の確認	<ul style="list-style-type: none"> 入学説明会のときに通学路を説明します。小学校まで歩いてみましょう。
	小学校の先生と面談	<ul style="list-style-type: none"> 食物アレルギーのある子の面談を行います。 就学支援シートの面談を希望する欄に○を付けた場合、小学校の先生と面談を行います。
4月	入学式	<ul style="list-style-type: none"> 待ちに待った入学式です。



1 楽しい学校生活は規則正しい生活から

お子様の学校生活を楽しく、学びの多いものにするためには、規則正しい生活習慣の確立が欠かせません。具体的には、「早寝」「早起き」「朝ご飯」です。例えば、毎日の時程を決め、表にするなどし、親子で意識してみてもよいかもしれません。十分な睡眠と栄養をとり、気持ちのよい朝を迎えることができれば、元気な学校生活を送ることができるでしょう。



POINT

個人差はありますが、新しい環境では子供たちは不安を感じたり疲れをためやすかったりしやすいものです。なので、土日はしっかりと休養をとって、週明けの登校に備えられるとよいですね。

2 あいさつができると人の輪が広がります

あいさつは魔法のことばです。「おはよう」「さようなら」「いただきます」「ありがとう」「ごめんなさい」など、相手に伝える場面やことばは様々あります。あいさつをすると、会話のきっかけになり、人間関係が広がります。あいさつをされると、うれしい気持ちになります。あいさつは、コミュニケーションの第一歩です。あいさつ上手になるためには、大人がよいモデルとなる必要があります。まずは家庭内で習慣化できるとよいですね。



POINT

あいさつはする側もされる側も気持ちのよいものになるよう心がけましょう。そのためには、相手の目を見る、笑顔で接することができるようになるといいですね。



3 身の回りのことが 自分でできるように

身の回りのことが自分でできるようにするには、わかりやすく説明し、見守り、ほめることが大切です。もし準備したものが間違っていたとしても、まずは自分で準備できたことをほめ、自信を持たせてあげましょう。自分でできたことをほめることで、自主性が育ち、自分で考えて行動する姿勢が身に付きます。幼稚園や保育園と比べて小学校では管理物が増えます。ご家庭でもまずはハンカチなど身に付ける物の管理から始めてみるとういでしょう。



4 困ったことは大人に 伝えられる習慣を

学校生活では「具合が悪い」「物がな」など、困ったことを大人に伝えられることがとても大切です。困ったときに泣いているだけではなく、自分のことばで大人に伝えられるよう練習していきましょう。そのためにも、大人が先回りをして対応してしまうのではなく、子供が伝えるのを待ってあげたり、SOSを出しやすい関係を作っておくことも必要です。子供が言えたときは、ほめてあげてください。



5 人の話を聞くことは 学校生活の基本です

人の話を聞くときは、「話している人を見る」「人が話しているときは話をしない」「話したいときは手を挙げる」「最後まで話しを聞く」などがあります。このように、話を聞くことは、授業はもちろん、学校生活をスムーズに過ごすための基本となります。人の話を聞く姿勢が持てると、大切なことを聞き漏らさないだけでなく、人の話に興味を向けることができるようになります。ご家庭で本の読み聞かせなど人の話を聞く経験を増やしていけると、ことばからイメージする力を育むこともできます。



6 たくさんほめて 親も子供も 気持ちよく

子供はほめることによって大きく成長していきます。例えば、結果やできばえがどうであれ、挑戦する姿勢やその過程をほめることで、挑戦する気持ちは育ちます。わからない、できないと言ったことをほめれば、伝えることをためらわない気持ちが育ちます。ほめるポイントは、何がよかったのか具体的にほめること、小さなことでもほめること、その場でわかりやすくほめることです。「助かった」「ありがとう」の感謝のことは、人のために活動する気持ちを育てますし、自分の自信にもつながります。ほめることは万能の手段です。



POINT

困ったことを伝えられるのはもちろんのこと、嫌な気持ちを伝えられるようになることも大事。子供の気持ちを否定的にとらえず、共有してあげられる姿勢が大切です。また、保護者以外の大人にも困ったことを伝えられる練習ができるといいですね。



POINT

人の話を聞くことで自分で経験できないことや思いつかないことなど、自分の世界を広げるきっかけにもなります。人生に影響を与える素晴らしいことばとの出会いもあるかもしれません。

自分を守る

6つの約束

小学生になると、毎日の登下校、お友達と遊んだ帰りなどに子供たちだけ、または1人で外を歩く時間が多くなります。子供が安全・安心に過ごすためには地域の見守りとともに「自分の身は自分で守る」意識をもたせることが大切です。ご家庭でも、安全・安心についてお子さんと一緒に考えてみてください。

1

周りをよく見る・聞く



もし一人になったときは、周りをよく見て、よく聞いて歩くようにしましょう。

2

一人にならない

学校に行くとき、遊びに行くとき、帰るときにはお友達と一緒に行動するようにしましょう。



3

車とアイコンタクト

「車は止まってくれる」「大人は避けてくれる」そう思い込むのは危険です。横断歩道を渡るときは、車や自転車の運転手と目を合わせるようにして、渡る意思を伝えましょう。



4

触られない距離を取る

挨拶をするとき、話をするときなど、相手がどんな人でも手が届かない距離を取るようにしましょう。



5

できません！を伝える

知らない人にお願いごとをされたり、誘われたりしたときはしっかり断るようにしましょう。



6

逃げる・助けを呼ぶ

「怖い」「嫌だ」と思ったときは、助けてくれる人がいるところまで逃げましょう。大人やお家の人に何があったか伝えられるようにしましょう。



いざというときの「防犯ブザー・防犯ホイッスル」

逃げるときや助けを呼ぶときは、防犯ブザー・防犯ホイッスルが役立ちます。すぐに手の届くところに付けること、いざというときにすぐに鳴らせるように練習しておくことが大切です。防犯ブザーは止める練習もしておくこと、間違えて鳴らしてしまったときにあわてずにすみませす。また、時々電池の確認もしておきましょう。



「いか・の・お・す・し」を覚えよう



学校

遊歩道

多摩センター

KOBAN





Q 読み書きはどれくらいできる
ようになっていればよいでし
ょうか？

A 自分の名前の読み書きができ
るとよいでしょう。

学校生活では自分の座席やロッカー
の場所は文字で示されていますので、
自分の名前の読み書きができるとよい
でしょう。ただし、小学校に入ってから、
ひらがなの学習を行いますので、

無理にひらがなの読み書きを覚える必
要はありません。この時期は、読み聞
かせや会話を通して語彙を増やすこと
が大切です。

なお、お子さんの興味に合わせてひ
らがなの読み書きに取り組む場合に
は、鉛筆のもち方に気をつけてあげて
ください。



Q 和式トイレに慣れていないの
で心配です。

A 学校には洋式トイレもありま
すので大丈夫です。

小学校には洋式トイレもあります。
また、入学後に、トイレの使い方の指
導があります。しかし学校によっては
和式トイレが多いところもあります。
遠足や校外学習などで公衆トイレを使

う際に和式トイレしかない場合もあり
ますので、入学前に和式トイレに慣れ
ておくとうれしいです。また、男の子は小
便器に慣れておくとうれしいでしょう。



Q 小学校に入ると、担任の先生
と話す機会が減ってしま
うことが心配です。

A 学期に1回程度保護者会や
個人面談があります。

小学校では、保護者と担任の先生が
直接話をする機会として学期に1回程
度保護者会や個人面談があります。ま
た、日常的には、主に連絡帳で連絡を
取ります。

その他、必要に応じて電話でのやり
とりや面談を行うことも可能です。担
任以外にも、養護教諭やスクールカウ
ンセラーなどとも相談をすることがで
きます。小さなことでも、学校に相談
してください。行事などのお知らせ
は、学校便りや学年便りに掲載されま
すので、ご覧ください。



Q 給食は苦手なものも食べなく
てはいけませんか？
また、時間内に食べ終わら
なくて残されないか心配です。

A 楽しくマナーを身に付けなが
ら食事することが目的なの
で心配いりません。

給食は基本のマナーを身に付けなが
ら楽しく食事することが目的となり
ます。苦手なものや食べる量について
心配がある場合は、担任の先生と相談

しながら進めていくとよいでしょう。

給食の時間の長さは学校により違
いますが、1年生の当初はゆっくり時間
をかけていき、徐々に学校の給食の時
間に合わせていきます。残されて食
べることはありません。



小学1年生 & 1年間の学校行事

小学1年生の1日

7:50~8:20	登校	1学期の始めに集団登校する学校もあります。
8:25~8:40	朝の会	月曜日は児童朝会、木曜日は児童集会有る学校が多いです。他の曜日は朝読書や朝学習を行う学校もあります。
8:40~9:25	1時間目	1時間目と2時間目の間に、5分の休み時間がある学校が多いです。トイレに行ったり教室移動をしたりします。
9:30~10:15	2時間目	
10:15~10:35	中休み	20分程度の休み時間。天気のいい日は校庭に出て遊ぶように促している学校が多いです。5分前の予鈴が鳴る学校もあります。
10:35~11:20	3時間目	
11:25~12:10	4時間目	
12:10~12:55	給食	当番活動として給食配膳を順番に行います。高学年の放送委員会が楽しい昼の放送を流します。
12:55~13:40	昼休み・掃除	校庭に出て遊ぶことが多いです。担当の場所をみんなですべて掃除します。
13:45~14:30	5時間目	1年生の5時間目の始まりは学校により違います。4月下旬から週1回程度の学校が多いです。
14:30~14:40	帰りの会・下校	宿題や翌日の持ち物などを連絡します。4月当初は集団下校する学校もあります。

1年間の学校行事

4月	入学式 / 保護者会 / 健康診断・身体測定 / 学校探検 / 1年生を迎える会	12月	個人面談 / 終業式
5~6月	授業参観 / 運動会 遠足 / 家庭訪問	12~1月	冬休み
6月	プール開き・水泳学習	1月	始業式
7~8月	夏休み / 水泳教室 学習教室 / 個人面談	2月	授業参観
9~10月	運動会 / 校外学習	3月	6年生を送る会 / 修了式 春休み
11月	学習発表会・展覧会 / 遠足		

※学校によって行事は違います。

1年生の学習内容

こくご

- 「話す・聞く」「書く」「読む」の基礎を身に付けます。
- 71文字のひらがな、カタカナと80文字の漢字を覚えます。

とさんすう

- 簡単な2桁のたし算、ひき算を習います。
- 3桁までの数の表し方を学習します。

せいかつ

- 学校探検や植物の観察などを通して、クラスの友達や先生と共に生活することを学びます。

※その他に、体育、音楽、図工、道徳、学級活動などの時間があります。

1年生の姿 エトセトラ



ここが
ポイント

2年生になるにあたり必要と思われることトップ10



ここが
ポイント

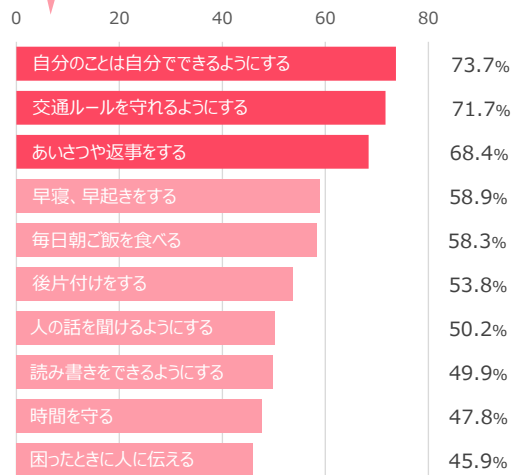
『就学前の保護者が気をつけていること』では、「**自分のことは自分でできるようにする**」が最も多く、「**交通ルールを守るようにする**」「**あいさつや返事をする**」と続く結果になりました。

また『小学校 1 年生担任が保護者に気をつけてもらいたいと思っていること』では、「**困ったときに人に伝える**」「**人の話を聞けるようにする**」が最も多く、「**毎朝朝ご飯を食べる**」がそれに続きました。

特に「困ったときに人に伝える」「人の話を聞けるようにする」については1年生担任側が、「交通ルール」や「読み書き」については保護者の方が多くの必要性を感じており、**その感じ方に大きく差が出ているのが特徴です。**

このように両者に共通して大切だと感じているものがある一方で、保護者と1年生担任とで項目によっては差の見られるものがありました。

就学前の保護者が気をつけていることトップ10

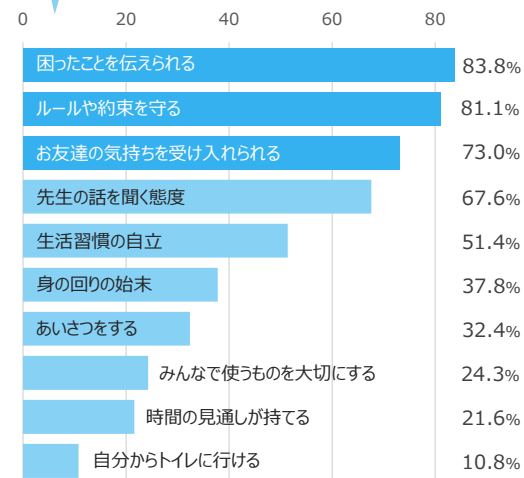


担任が気をつけてもらいたいことトップ10



右のグラフは、1年生担任が回答した『2年生になるにあたり必要と思われること』です。「**困ったことを伝えられる**」という項目が1位となっており、やはり**学校生活で困ったことを伝えられる力**が必要とされていることがわかります。2位の「**ルールや約束を守る**」と同様に、**集団の中で生活する力**が学校生活では重要になっていくためではないかと考えられます。

3位には「**お友達の気持ちを受け入れられる**」が入りました。入学時は、身の回りのことや人の話を聞けるといった「**自分自身のこと**」が最優先に注意を払われていたのに対して、成長と共に、「**他者を意識した行動**」というものが必要になってくると考えられます。



子供の気持ちに寄り添って



お友達と過ごす時間は子供たちにとってかけがえのないものです。1年生の頃は自分の思いが受け入れられることもあれば受け入れられないこともしばしば。お友達関係でうまくいかなかったときは、まずは**子供の気持ちに寄り添い、気持ちを共感してあげることが大切**です。そして、お友達の気持ちについて一緒に考える時間を作ってあげられるとよいでしょう。



これらのデータは、平成 29 年度に多摩市内の小学 1 年生の担任教師と、就学を控えた年長のお子さんの保護者の方々に対して行ったアンケート結果によるものです。



にゃんと
TAMA左衛門

困った時は相談してね！

子供と家庭に
関すること

子育て総合センター

- ▶ 月～土曜日(祝日・年末年始を除く) 9:00～18:00
※面接相談予約制
- ☎ 042-355-3777 (相談専用)

発達に
関すること

発達支援室

- ▶ 月～金曜日(祝日・年末年始を除く) 9:00～17:00
- ☎ 042-374-2717

就学に
関すること

教育センター 特別支援教育マネジメントチーム

- ▶ 月～金曜日、第2・第4土曜日(祝日・年末年始を除く)
10:00～12:00 / 13:00～17:00
- ☎ 042-372-2050



就学支援シート
関すること

教育センター 統括指導主事

- ▶ 月～金曜日(祝日・年末年始を除く) 9:00～17:00
- ☎ 042-372-1010

学童クラブに
関すること

多摩市役所 子ども青少年部児童青少年課児童係

- ▶ 月～金曜日(祝日・年末年始を除く) 8:30～17:00
- ☎ 042-338-6884

発行日 平成30年10月

監修 島田療育センター 山本秀二

編集 多摩市保幼小連携推進委員会実務者会

永山小学校 鈴木幸子 / 東落合小学校 竹川優子 / 連光寺小学校 大鷹えり子
あおぞら保育園 仲山美子 / かしのき保育園 近藤直恵 / 桜ヶ丘第一保育園 杉原朝子
おだ認定こども園 奥山純子 / 諏訪幼稚園 菊地 薫 / 東京大谷幼稚園 近澤剛士
多摩市教育委員会 / 多摩市子ども青少年部 / 島田療育センター 神田水太(編集協力)

発行 多摩市

